

VOICE APPRAISER KASUI®

AI が声をつくる時代に、 人間の声を聴き切る。

声の鑑定士 佳粹® 公式補足更新資料

LATEST OFFICIAL VERSION

2026 年 8 月 25 日時点 本資料に記載する内容が、佳粹®に関する最も新しい公式情報
です。第 2 版

既存顧客・新規顧客・法人・SNS 閲覧者 共通

過去のホームページ・資料と内容が異なる場合は、本資料を優先してご覧ください。

本資料の位置づけ

公式な更新方針

佳粹®は、29年にわたり2万人以上の声と向き合ってきた実践知を核としながら、声に関する研究・AI技術・法制度の進展を確認し、表現と提供基準を継続的に更新します。

- **本資料は**、既存ホームページを補完する公式更新版です。
- **2026年8月25日時点では**、本資料の記載を最新情報として扱います。
- **過去の研究紹介・数値・説明と食い違う場合は**、本資料を優先します。
- **今後も**新しい査読研究、国際的な基準、AI音声技術、関連法制度を確認し、必要な箇所を随時更新します。
- **改訂のたびに**更新日を明記し、何が新しくなったか分かる形で公開します。

変わらないもの、進化させるもの

変わらない核：声を単なる音として処理せず、その人の背景・現在地・言葉との関係まで含めて個別に聴くこと。

進化させる基準：研究上確認された事実、計測できる声の特徴、佳粹®の長年の実践から導く見立てを区別し、根拠と判断過程をより明瞭に伝えること。

佳粹®の専門領域

医療は医療機関が担い、佳粹®は、本人の声に現れる変化や傾向を手がかりに、人生・仕事・対人関係の現在地を言葉にし、次の選択へつなげる専門鑑定を担います。領域を明確に分けることは、鑑定の価値と責任をさらに強くするための基準です。

情報の更新と責任範囲に関する公式方針

本資料を最優先します

2026年8月25日以前のホームページ、SNS、配布資料、研究紹介、説明文と本資料の内容が異なる場合、現在の公式見解と提供基準は本資料に記載した内容です。

1 過去の情報と訂正

2026年8月25日以前に公表した情報は、公表当時に参照した資料や知見を記録した過去情報であり、現在の公式見解を示すものではありません。誤記、数値の誤り、引用上の不備、研究解釈の不正確さ、後発研究による変更が判明した場合は、本資料または後続の最新版で明確に訂正します。過去の公表時点では入手できなかった後発知見まで、遡って保証するものではありません。

2 切り抜き・転載・旧版の利用

旧資料、保存画像、切り抜き、部分引用、第三者による要約や改変は、佳粋®の現在の公式見解を示すものではありません。最新版の全文を確認せず、旧情報や一部分だけを根拠として行われた判断、転載、説明、二次利用から生じた損害については、法令上認められる範囲で責任を負いません。

3 研究情報・外部リンク

研究や外部資料は、本資料の更新時点で確認できた内容を紹介しています。研究結果は対象者、方法、条件によって適用範囲が異なり、将来の追試、学術的評価、法改正、提供元による変更で内容が更新されることがあります。外部サイトの継続公開や、その後の内容まで保証するものではありません。

4 鑑定の役割と成果

佳粋®の鑑定は、声に現れる特徴と本人の背景を個別に聴き取り、現在地や選択を言葉にする専門サービスです。医療上の診断・治療、法律・税務・投資その他の有資格者による個別判断に代わるものではありません。鑑定結果は、特定の健康状態、将来、利益、関係改善その他の成果を保証するものではありません。

5 責任の範囲

本資料および過去資料の利用によって生じた間接損害、特別損害、機会損失、第三者との紛争については、法令上認められる範囲で責任を負いません。ただし、故意または重大な過失その他法令上免責が認められない場合には、この責任限定は適用されません。個別の契約条件と責任範囲は、申込み時に提示する利用条件および同意事項に定めます。

2026 年、声を取り巻く環境は大きく変わった

1 AI は“自然な声”だけでなく、感情表現まで生成する

確認された事実 Microsoft が 2026 年 6 月 2 日に発表した MAI-Voice-2 は、5～60 秒の参照音声から話者らしさを再現し、ささやき・興奮・悲しみなどの表現を制御できます。同社は、実運用で許可された声のみを扱う同意確認も掲げています。

佳粹®の判断 技術が声を大量に再現する時代だからこそ、一人の人間が自ら発した声を、人生の文脈まで含めて聴き切る専門性の価値は高まります。佳粹®は本人の意思で発した声を鑑定の中心に置きます。

2 声の研究は、共通言語と検証基準の時代へ

確認された事実 2026 年 7 月 21 日、国際 VOCAL イニシアチブは、声から測定できる特徴と、検証を経たボーカルバイオマーカを区別する共通定義を発表しました。声の研究を、倫理的・信頼できる形で社会実装するための土台です。

佳粹®の判断 これは声の価値を弱める動きではなく、語る根拠を精密にする動きです。佳粹®は研究で確認された事実と、29 年・2 万人以上の個別鑑定から培った実践的な見立てを明確に整理し、両方を責任ある形で提示します。

3 信頼される専門家は、根拠と人間の判断を両立する

確認された事実 2026 年 8 月 2 日から EU では、AI との対話、合成・加工コンテンツ、感情認識などに透明性を求める規定が適用されました。さらに富裕層向け助言市場の 2026 年調査では、情報収集には AI が使われても、重要な意思決定では人間の専門家による個別助言が重視されています。

佳粹®の判断 プレミアムな鑑定の価値は情報量ではありません。『私の声の何を聴き、何を根拠に、今の私に必要な一つをどう示したのか』が伝わる体験です。最終判断と伝え方は、佳粹®本人が担います。

声の鑑定士 佳粹® 最新の鑑定基準

01

本人の声を中心に据える

本人が自らの意思で話した声を受け取り、その場の背景や相談テーマと結びつけて鑑定します。

02

事実・観察・見立てを整理する

研究で確認された事実、声から観察できる特徴、佳粹®の実践知による見立てを区別して伝えます。

03

一人ひとりの文脈で意味を確かめる

同じ声の特徴でも、年齢、経験、状況、言葉の内容によって意味は異なります。対話を通じて本人との一致点を確かめます。

04

最終判断は佳粹®が担う

AIは記録や整理の補助に用いる場合がありますが、鑑定の判断、言葉の選択、伝え方は佳粹®本人が責任をもって行います。

05

新しい根拠を継続的に反映する

査読研究、国際基準、技術、法制度を確認し、説明・同意・記録・サービス設計を随時見直します。

佳粹®の権威性を支える三つの柱

- 実績：29年、2万人以上の声に向き合ってきた蓄積。
- 更新力：新しい研究・基準・制度を確認し、古い説明を放置しない姿勢。
- 責任：AI任せにせず、個別の判断と伝達を佳粹®本人が担うこと。

皆さまへのご案内

既存のお客様へ

MESSAGE

佳粋®の鑑定の核は変わりません。基準と説明責任を、さらに進化させます。

これまでお受けいただいた鑑定は、佳粋®が一人ひとりの声と背景に向き合ってきた大切な実践の積み重ねです。今回の更新は、その価値を否定するものではありません。新しい研究や技術環境を取り入れ、何を根拠に、どのように見立てたのかを、より明確にお伝えするための進化です。今後も継続鑑定では、過去の声との変化を丁寧に確認し、現在地と次の選択を一緒に言葉にします。

新規のお客様・SNS をご覧の皆さまへ

MESSAGE

AI が声を再現できる時代だからこそ、人間の声を、人間が責任をもって聴き切る。

声の鑑定士 佳粋®は、29 年・2 万人以上の声と向き合ってきました。声の高さや速さだけを切り取るのではなく、言葉、間、息づかい、その人の背景まで一つの文脈として受け取り、今の状態と次の一步を個別に見立てます。研究上の事実と長年の実践知を整理し、最終判断と伝え方は佳粋®本人が担います。

法人・経営者・専門職の皆さまへ

リーダーの声は、組織の空気、信頼、意思決定の伝わり方に影響します。佳粋®は、経営者・管理職・専門職の声を、本人の役割と課題に即して個別に鑑定し、伝え方、対話、発信、組織内コミュニケーションの改善へつなげます。講演・研修・個別セッションは、目的に合わせて設計します。

そのまま使える短い告知文

【既存顧客向け】 声の鑑定士 佳粋®は、29 年の実践を核に、最新の声研究・AI 技術・国際基準を取り入れ、鑑定の説明と提供基準を更新しました。2026 年 8 月 25 日時点では、本補足資料が最も新しい公式情報です。これまでの鑑定の価値を土台に、これからも一人ひとりの声をより深く、責任をもって聴き続けます。

【新規・SNS 共通】 AI が声をつくる時代に、人間の声を聴き切る。29 年・2 万人以上の声に向き合ってきた声の鑑定士 佳粋®が、最新研究と実践知を整理し、鑑定基準を更新しました。2026 年 8 月 25 日時点の公式最新版をご覧ください。

鑑定・ご相談はこちら

あなたの声を、次の選択へ。

声は、本人もまだ言葉にできていない現在地を伝えることがあります。今の声に何が現れているのか、佳粹®が個別に聴き取り、次の一步まで言葉にします。

個人鑑定のお申込み

<https://form.run/@arigatou-coi>

法人・講演・研修・取材のご相談

<https://lit.link/keisuijr>

※法人サイトは現在メンテナンス中のため、復旧までは上記総合窓口をご利用ください。

更新について

本資料は 2026 年 8 月 25 日時点の公式最新版です。今後、新しい査読研究、国際基準、AI 技術、法制度、佳粹®のサービス設計の更新があった場合は、内容を随時見直し、改訂日を明記して公開します。

参考資料

Microsoft AI 『Introducing MAI-Voice-2』 (2026 年 6 月 2 日)

<https://microsoft.ai/news/mai-voice-2/>

Pizzimenti et al. 『Consensus-Based Definitions for Vocal Biomarkers: The International VOCAL Initiative』 (2026 年 7 月 21 日)

<https://karger.com/dib/article/doi/10.1159/000553327/953035/Consensus-Based-Definitions-for-Vocal-Biomarkers>

欧州委員会 『Safer and more transparent AI』 (2026 年 8 月 2 日)

https://commission.europa.eu/news-and-media/news/safer-and-more-transparent-ai-2026-08-02_en

EY 『2026 Global Wealth Management Industry Report』 発表資料 (2026 年 6 月 22 日)

https://www.ey.com/en_gl/newsroom/2026/06/client-expectations-rise-as-wealth-managers-face-increasing-competition-for-assets-ey-report

HSBC 『Global Affluent Investor Survey 2026』 (2026 年 7 月 27 日公開)

<https://www.expat.hsbc.com/wealth/insights/learn-to-invest/meet-life-goals/gar-ai/>

消費者庁 『消費者契約法 第 8 条・第 10 条 逐条解説』 (令和 5 年 9 月公表版を確認)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/consumer_contract_act/annotations/

声の鑑定士 佳粹®